

後記

○五月二十三日、日本幼稚園協會で春の講演會を開きました。田島、井口兩氏のお話は是非心得ておくべきこと、當日お出でになれなかつた方々のためにもと思ひ、そのまゝ載せさせて頂きました。どうぞ御覽下さい。

○既に斯界の權威であり、なほ不斷の研究をつづけて居られる古川教授が、氣質に關しての一文を寄せて下さいました。幼兒の一人一人の氣質を、それを正しく認識してから、その上での保育であること、これを讀んで一層深く感じられました。

○小池教授の桃太郎の變遷を、朝日新聞で面白く讀みました。本誌にも早速お願ひいたしましたところ、今後引つゞいて、昔の變遷を書いて下さるそうです。來月

號には、舌切雀の展開を書きませうといふお知らせでした。何にしてもまづ、桃太郎のから始る方がいゝと思ひ、筆者及び新聞社の諒解を得てこゝに轉載いたしました。

○坂内、留岡兩氏は實際保育の達人です。大いに得る所があります。新入園兒も漸く幼稚園に慣れてホツとしたところ、一しほ感慨深くお讀みの方もありませう。是からお辨當では一苦勞する時期、獻立を揭示しておいたら、大層お母さん方に喜ばれたとも聞きました。この兩氏のもの、田島、井口兩氏の講演と相銜して讀んで頂けば一層よいと思ひます。なほこの種の實際的いろいろのお試みがおありでせう。御寄稿下さい。

○近年二人のお嬢さんを、次々と小學校におくられたお母さま、岸田國士氏夫人が「母の話」を書いて下さいました。これは同時に「保姆の話」でもありません。直面試した保育以外に何も知らうとしないこと

は、向後の自らを推ふ時、まことに心細い氣がします。その意味で、桃太郎の變遷や、「母の話」を嬉しく拜讀しました。○子供の遊びについて、西田氏が研究發表をしてゐられます。こゝに掲げたのは最初の試みですが、この後も引つゞいて研究されてゐますから、また御参考にお知らせいたしませう。

○保育案の解説、今月は七月分を書きましたが、當園は十日で夏休みになりますので、例月より少なうございます。お断りまで。

○廣告で御覽の通り、保育に關する夏の講習會が方々で開かれます。勉強いたしませう。日本幼稚園協會でも開催いたしますから、どうぞお出で下さい。なほ、お申込みの際、住所姓名は楷書で書いて頂き度い。字の不明の爲に、係りの者が大それた手間をとる事があります。

○梅雨の折柄皆様の御健康を祈ります。